

第36回

「みどりの愛護」功労者 国土交通大臣表彰

受賞

みどりちかまる推進局

花と緑の愛護に顕著な功績のあった団体に贈られる「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰。

今年度、地域の緑を守り育てる活動が評価され、協会の認定団体の中から「みどりちかまる推進局」が表彰されました。

今回は、代表の石井さんから届いた受賞のよろこびの声をご紹介します。

第36回全国「みどりの愛護」のつどいに参加して みどりちかまる 代表 石井康子

地下鉄駅ボランティアグループ「みどりちかまる推進局」は2005年七隈線開通を機会に活動を開始しました。目的は、①地域の方々のコミュニティー作り ②駅利用者へ「元気と癒しを」③来福者に「おもてなしの心を」という3点です。最初は3駅からスタートしましたが現在は七隈線7駅と空港線2駅の9駅で花壇、コンテナの植栽を行なっています。20年続けたこの活動に対して、今年「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受けました。受賞式典は、6月7日千葉県松戸市にて秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を賜り「森のホール21」で行われました。その後「21世紀の森と広場」にて記念植樹祭が開催され参加いたしました。全国から94団体が表彰を受け、

緑豊かな潤いのある住み良い環境づくりに頑張っていらっしゃる団体ばかりでした。この受賞を励みに福岡市内の地下鉄駅を花と緑でつないでいきたいと思えます。長い間活動を続けることができたのは「緑のまちづくり協会」のご支援のお陰です。心より感謝いたします。

「みどりの愛護」
のつどい
植樹の様子



式典会場入り口



活動の様子



地下鉄藤崎駅

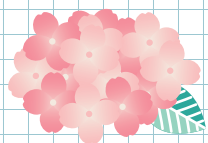


(左) 坂本麻理さん (中央) 石井康子代表
(右) 江口邦子さん



緑のレポート

アジサイ ワークショップ



緑のコーディネーター 高井カホル



まず、自己紹介より始まり、與田さんが作業工程を話され作業を開始。

開花しているアジサイの株より挿し木を取る。ビニールポット、素焼きの鉢に赤玉を入れ、水をかけます。挿し木の先端が傷つかないように棒で穴をつくり、挿していきます。9ケース（約165本）出来ました。

一旦この作業終わり、水分補給。メタセコイアの材木で出来たイスに座ります。冷凍タオルを一人ひとりに渡されます。会員夫妻の差し入れ、ソウメン、押しずしをいただきました。おいしかったです。

ミツバチの話で盛り上がりました。食事が終わると、道路向かい側の急斜面に移動します。以前植えられたア

ジサイはいろいろな色できれいです。アジサイの空いている所に3年目のアジサイを植樹します。竹杭をたてます。ミツマタも植樹します。

上の方のアジサイを見にあがります。（石ころが多く穴を掘るのが大変でした）みごとに育ってきれいです。4年前に植えたミツマタも大きくなっています。

挿し木したアジサイのケースを所定の場所に運び、水をたっぷりかけて終了です。

暑い中皆さん、お疲れ様でした。

令和7年6月29日（日）9:00～12:00
場所／野河内溪谷入口、公衆トイレうら モミジ台
参加者／野河内往還の会他、10名（1名初参加）



メタセコイアで作られた
テーブルセット



斜面にアジサイ植樹



2025年、RHS チェルシー
フラワーショーにて、石原和幸
さんの作品のPR・プロモ
ーションを担当させていただきました。
石原さんは見事、ゴールドメ
ダル、ベストガーデナー賞、
ピープルズチョイス賞の三冠
を達成。ここでは現地の様子
を紹介します。



緑のコーディネーター
岩元敬子



チェルシーフラワーショーに
参加して

出展ガーデンの中
で、日本文化を体
現するパフォー
マンスも多くの来場
者に喜んでいただ
きました。裏方も
頑張りました。



*
今年のチェルシー・イン・ブルームのテーマは、「フ
ァッション」。街角は花装飾でとても華やか。多く
の方から声をかけられ、着物の力を感じました。カ
ラーコーディネートも完璧なロンドンレディたちは、
「“チェルシー・イン・ブルーム”は無料で楽しめる
から、毎年楽しみなの」と。花のある街って、会話も
笑顔も自然に生まれるんですね。

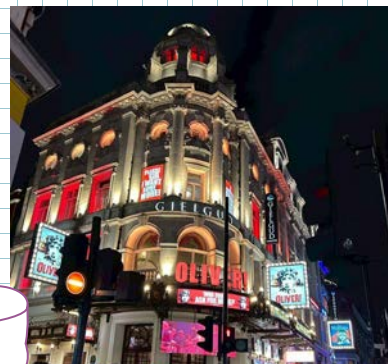
*チェルシー・イン・ブルーム／フラワーショーの期間中、地元
のショップやレストランなどが花の装飾を施し、街を彩ります。

ロンドン郊外のケンプトンパークで
開催されるアンティークマーケット
へ足を運びました。1800年代のイギ
リスに想いを馳せながら、歴史とロ
マンが詰まった空間は、まるで時を
旅するよう。風合い豊かなアン
ティークひとつひとつに物語が宿っ
ているようで、心が満たされるひと
ときでした。



ロンドンで活躍する日本人フロー
リストの方から、英国式フラワー
アレンジメントレッスンを受ける
機会に恵まれ、ご自宅の美しい
ローズガーデンもを見せていただき
ました。バラの香りに包まれなが
ら、お手製のアフタヌーンティ
ーを振る舞ってくださりました。

念願だったオペラ鑑賞にも
行くことができました。重厚
な音楽と圧巻の舞台に包ま
れ、言葉がわからなくても、
身体に響く表現の力にただ
ただ感動しました。



ふと足を伸ばしたのは、パタ
シーパーク近くの公園。静かに
流れる時間の中で、心がほどこ
けていくのを感じました。

美しいものに出会い、
自然に癒される。
そんなロンドンの日々
でした。

LONDON

森づくりは下草刈りから

福岡市水源林ボランティアの会 西田正光

令和7年6月21日(土)曇り、
気温32℃定例活動日下草刈り、
昨日の猛暑日の影響か、
参加者16名と少なめ。今日は早
良区曲淵ダムの上流域、飯場地区
での下草刈り。



この地は昨年までは杉林であったが、水源涵養林機能と花粉発生防止の目的から皆伐した場所で、重機で地ごしらえした後、今年3月15日雨の中、市政だよりの公募で集まった21名と水源林ボランティアの会員16名、福岡市関係職員等を含め合計45名余りで植樹した。市で準備した山桜100本、クヌギ120本、九大伊都キャンパスで育苗したどんぐり系100本、合計320本を植樹した。

それから3ヵ月程、場所によっては苗木より草が大きく茂り、中には植樹した苗木が隠れ、支柱が目印となる。草刈り機6台、大鎌2本、手鎌6本を軽トラに積み込む。暑い中ヘルメット、長袖、長ズボン、登山靴や長靴、手袋で身を包み作業開始。草刈り機や大鎌で道筋や苗木の大回りを刈り込んでゆく、私は苗木の回り50cm程度を片膝ついた姿勢で、手鎌を使い苗



木を傷つけない様丁寧に草を刈る。苗木にツルが絡み着いていればツルの根元から切り苗木から取り除く。汗が滴り、額から眼鏡に伝わり眼鏡が曇り、目に沁入ってくる。首に巻いたタオルで目と眼鏡と額をふき、水筒の水を飲み、休憩しながら作業を進めて行く。年を重ねた私には体力が次第に消耗し次回に延ばそうかと思いつつも、草刈り機のエンジン音と私よりも若い会員の刈込の姿、植樹の時に一般市民が苗木に付けた木札の「水源の森」「自然あふれる森」「美しく咲いた山桜の百人一首」等の後押しされ何とか2時間半程度で、この場の草刈りを完了する事ができた。来週は曲淵ダムの裏山へひと山超えて下草刈り。この地も今年の夏1~2回は作業が必要です。

森づくりは植えるだけでなく、地道な体力作業があって豊かな森になっていきます。福岡市の豊かな森と川と海をつくる人たち集まれ。



駐車場から登山道に入る場所にはスズムシバナやキツリフネ等が自生していますが、毎回のよう
に除草の際に刈り取られてしま
い花を見ることが出来ません。今
年こそ間違えて刈られないよう
に紐を張り、刈られずにすみまし
た。
女性の方には看板の汚れを綺麗
に洗っていただき、学生さんには
山道を覆い隠すほど繁茂した草
や、頭上から垂れ下がる下枝など
を取り除いていただいて安全に往
来できるようにしました。
箒を忘れてきたので、落ち葉など
の清掃が出来なかったことが残
念でしたが、トイレの中も綺麗に
清掃されていてよかったと思
いました。
終了後は、休憩を取りながら11月
に行う25周年記念イベント開催に
ついて話し合いました。

瑞梅寺オオキツネノカミソリを守る会

今年で25周年。涼風とともに山守。

毎年、七月第一土曜日に行われる
井原山の保全活動に今年も参加し
ました。
例年この時期は雨が降って大変で
すが、今年は天気に恵まれて、水無
川を吹き渡る涼風を浴びながら清
掃活動が出来ました。特に、鍾乳洞
の前に立つと肌寒いほどで、下界
の猛暑を忘れてしまいます。

緑のコーディネーター

森口正一

日時/ 令和7年7月5日(土)9:00~12:00

場所/ 水無鍾乳洞周辺~アンノ滝分岐付近まで

作業内容/ 駐車場周辺や登山道の除草作業、
及び山道上の枯れ枝や浮石などの撤去 他

参加者/会員他13名(初参加5名)



春から夏へ 花の衣替え

井尻4丁目シニアクラブ 代表 岩瀬宜和

春の花から夏の花への衣替えがクラブの仲間、町内の子供会、市内の知人や花仲間が集まり、総勢40名の手を借り梅雨入り前に無事終わりました。老人クラブが母体となり、世代間交流の意味も含め、春と秋実施しております。



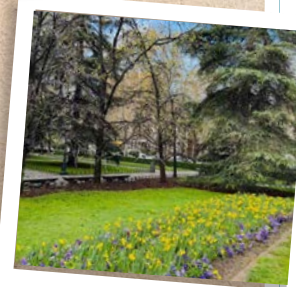
6月7日(土)

南区井尻4丁目30

(国道沿い街路花壇)



建設がまだまだ続く
サグラダファミリアの外観



世界三大美術館のひとつ、
プラド美術館を飾る庭。
色合わせが流石!

Spain



マドリードからバルセロナまで
緑のコーディネーター 竹下順子

こんにちは、ずいぶんとお無沙汰していますがお元気でしょうか?
4月にスペインのマドリードからバルセロナまで旅して来ました。話に聞いていたより、情報誌で見ていたよりも、素晴らしい街でした。
特にサグラダファミリアのあるバルセロナは格別で、世界の中でも公園都市!!と言われる理由が分かりました。
街の植栽が統一されていて、とても綺麗でした。ガウディの思想と街づくりが出来上がっていました。

気になる話題にアクセス

motto
くわしくはこちらから



講師をつとめるのは
前田郁子さん

アジサイの挿し木研修を
行いました!



舞鶴公園フラワーボランティアさんが育てているアジサイを使った実践的な挿し木の研修会を開催しました。

※
石原先生の第一回ミニチュアガーデン講座に参加させていただきました。心配していた雨も降らず、野外での庭木の剪定、草花の植栽も石原先生のご指導の元実施されました。

その後室内へ。寄せ植え講座の前に英国チェルシーフラワーショー授賞式での様子のお話がありました。

特にチャールズ国王、エリザベス2世、エディンバラ公爵フィリップ王配等とのエピソード。世界を舞台に活躍される石原先生のお話に、私のワクワク感は急上昇。

季節の花の寄せ植え講座では、和やかで笑い声の絶えない会話の中、予定の花材を即興で変更されて、手際よくその場に合った講座にされた事は特に印象に残りました。

寄せ植えの作り方説明の後、個人の作業に入り横長の花器にミニチュア和風モダンの庭を取り組んでいた際、石原先生より「黒帯だね!」と言葉をかけて頂きとても嬉しく「あー、一人一花の活動がんばろー!」と思いました。

家に作品を持って帰り、当初予定の花材も使って作りながら今日の講座を思い返しました。長崎の原爆を身近に感じながら過ごされた石原先生の平和に対する思い。

—世界中で争いが続いてますが、たとえ小さくても心地よく話せる場所があれば分かり合えるかもしれない、そういう「心が安らぐ空間」は本当に大切だと思うんです。—

そんなお気持ちで庭作りに取り組まれてる石原先生の思いを私も引き継ごう!!とあらためて思いました。

ミニチュアガーデン講座は後2回。この経験を私の仕事であるガーデンや今後の一人一花の活動に活かしながら、「緑の魔法使いのふりをした小さなおばさん!!」を目指していきます。

令和7年度
第一回
ミニチュアガーデン講座

6月22日(日)
福岡市植物園
ボタニカルライフスクエア



※ 一人一花アンバサダー
石原和幸氏によるガーデンメン
テナンスと寄せ植えの講座。

花の苗 笑顔のバトン

6月20日(金) 東区香椎駅前3丁目(街路花壇)で活動する「花びら会」さんより、苗のご提供があり、同区内の「ふくおかまちづくりボランティアよかよかクラブ」さんがお受け取りになりました。

当日の様子を福岡市緑のまちづくり協会活動団体担当、下地をご紹介します。

「育苗したら苗がたくさんできました。せっかく育った苗を地域の方におすそ分けしたい。交流のきっかけになればうれしい。」と「花びら会」代表の久保さん。当日は晴天のもと、暑さにも負けず無事に掘り取りを終え、皆さん笑顔で記念撮影。



笑顔でパトリ (右)「花びら会」と(左)「ふくおかまちづくりボランティアよかよかクラブ」のみなさん



タネから育てているのでしっかり根が張っています。
提供苗:ジニア、キンセンカ、マリーゴールド

受け取った「ふくおかまちづくりボランティアよかよかクラブ」さんは、「たくさんの苗をありがとうございました。香椎第三中学校や東警察署の花壇に植えました。この暑さに負けず、元気に育ってくれと嬉しいです。」と話していました。



花苗のバトンが渡された花壇

同時期に活動を開始されている2団体。今後の活動も楽しみです!暑い中、ありがとうございました。

info

まちに「みどり」を!
福岡市役所本庁舎が
「都心の森」に生まれ変わります。

令和8年3月
工事完成(予定)



イメージパース

福岡市住宅都市みどり局みどり推進部
みどり推進課

info

参加募集

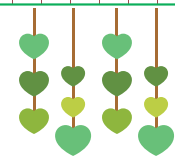
福岡市 緑のカーテンコンテスト
応募期間/8月1日(金)~31日(日)

主催/福岡市 環境局
脱炭素社会推進部 脱炭素社会推進課

福岡市では、花や緑を楽しみながら、省エネや熱中症予防などの地球温暖化対策となる緑のカーテンコンテストを実施しています。緑のカーテンに取り組んだ個人や団体が対象で、家庭部門(戸建て、集合住宅)と団体部門(企業、学校など)があり、審査を経て、最優秀賞(各部門1組へ五千円ギフトカード)などが選ばれます!

お問合せ先

福岡市環境局脱炭素社会推進部脱炭素社会推進課
電話:092-711-4282 FAX:092-733-5592



緑のカーテンに
取り組んでいる方必見!



緑のカーテンHP

詳しくは同封チラシをご覧ください。

花や緑のあるライフスタイルの 魅力発信

at ボタニカルライフスクエアサロン

福岡市植物園内にある「ボタニカルライフスクエア」のサロンでは、2か月ごとに緑のコーディネーターが装飾を手がけ、来園者に花やみどりのあるライフスタイルの魅力をお届けしています。展示期間中、関連のワークショップを行います。詳しくは左側のHPまたはインスタグラムから情報をチェックしてください。

8・9月のサロン装飾 ～夏の記憶～

緑のコーディネーター
渡辺しおみ



植物園の静かな空間の中で、光と影が織りなす夏の記憶をテーマにデザインしました。モスグリーンを基調にブルーやパープルの花を散りばめ、涼やかで心落ち着く雰囲気 연출しました。サロンでのひとときが皆さまの心に静かに残る素敵な夏の記憶となりますように…。

ボタニカルライフスクエアのイベント情報は
こちらから

HP



Instagram



Instagramを
開設しました!
フォローをお願いします!

地域の森・花づくり活動団体の皆さまへ

上半期報告書 提出のお知らせ

提出期間
10/1^水
31^金

提出
書類

- 令和7年度上半期報告書
- 記録写真(今年4月～9月まで)

提出
方法

- 郵送
 - メール
 - LINE
- ※持参の場合は事前にご連絡
をお願いします。

締切厳守をお願いします



ぜひ、お立ち寄り
ください!

東区を育てる /

花と森のボランティア 活動団体パネル展示

主催／公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会

東区で活躍する地域の森・花づくりの活動団体の取り組みを、パネル展示でご紹介します。

- 8月26日(火)～9月28日(日)
- 福岡市東図書館 市民ギャラリー
福岡市東区千早4-21-45なみきスクエア



39団体を
紹介します!

秋の植え替えの
土づくりに
活用ください!

耕運機を無料で貸し出します!

貸し出しには申請書の提出が必要です。
希望される方は、みどり課企画推進係までご連絡ください。
※私有地での使用はできません。

- 受取場所:舞鶴公園 または 東平尾公園
- 対象/協会の助成団体・緑のコーディネーター(講習修了者または使用経験者)

全2回の
講座です!

スマホ利用者(Android/iPhone)限定

スマホ講座 参加者募集!

写真の撮り方やLINEの使い方、防犯対策まで学べる実践講座を開催します。やさしく、楽しく学べる内容です♪ぜひご参加ください。

- 第1回目/10月27日(月)・第2回目/11月17日(月)
- 対象/協会の助成団体・緑のコーディネーター

詳しくは同封チラシをご覧ください。



2026 3.22^{SUN} - 26^{THU}
Fukuoka Botanical Garden | 福岡市植物園

2026年3月「エントランスガーデン」が誕生!
新しくなった植物園でFukuoka Flower Show
2026を開催します。

【内容】ガーデンコンテスト、ベラン
ダガーデン、物販・飲食出店など
※イベントの詳細については、
決まり次第、順次発表します。



FFS特設サイト

アンケートにご協力をお願いします

下記を明記の上、メールまたはFAX、webにて
お送りください。

- ①住所・氏名・年齢・電話番号
- ②良かったページ③
本誌に期待すること、ご意見など



webアンケート

投稿をお待ちしています

グリーンノートへの記事投稿は、原稿、写真を
郵送またはメールにてお送りください。
10・11月号(10月号)への投稿締切は10月24
日です。

発行元・あて先

(公財) 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
福岡市中央区小笹5丁目1番1号
福岡市植物園 緑の情報館内

- ✉ ks@midorimachi.jp
- ☎ 092-260-8816
- ☎ 090-8463-9982
- ☎ 092-401-1384



ホームページ